

第二十五回 通常総代会

平成十九年度 事業計画決まる

遠野地方森林組合の第二十五回通常総代会が、二月二十三日午後一時三十分から遠野地域木材総合供給モデル基地森林総合センター多目的ホールで開催され、平成十八年度事業成績、平成十九年度事業計画など九議案を原案通り承認、可決した。

連合会長（兼平武業務部長代理）を紹介した。議長に宮守町の多田勉氏を選出し、議案第一号から議案第九号まで審議され、原案通り承認、可決された。

遠野地方森林組合の第二十五回通常総代会が、二月二十三日午後一時三十分から遠野地域木材総合供給モデル基地森林総合センター多目的ホールで開催され、平成十八年度事業成績、平成十九年度事業計画など九議案を原案通り承認、可決した。

総代会を開くにあたり、濱田平八郎代表理事組合長は「第二十五回通常総代会を新総代の皆様、多数のご来賓の方々ご臨席のもとに開催することができ、感謝申し上げます。景気回復を感じることができないまま推移し、厳しい状況下での組合経営

でした。しかし、その中であって、今日執られている林業政策が、森林の持つ多面的機能の持続的発揮等、環境機能重視の政策に転換してきていることから、組合利用を推進し、地域の森林整備に努めた結果、当期剰余金の計上に結びつける事が出来ました。また、若干ではあります。昨年後半から木材価格が持ち直し、荷動きが活発になったことも明るい材料であります。

このあと、来賓の本田敏秋遠野市長（臼井悦夫助役代読）、新渡戸友次岩手県南広域振興局花巻総合支局遠野農林センター所長、河野好宣遠野市議会議長（佐々木幸夫市副議長代読）から祝辞をいただきました。佐々木廣一岩手南部森林管理署遠野支署長（藤倉憲一業務課長代理）、伊東千賀雄森林組合

平成18年度 剰余金処分

	千円
平成18年度当期剰余金	92
前期繰越剰余金	1,371
平成18年度当期末処分剰余金	1,463
剰余金処分額	
法定準備金	80
次期繰越剰余金	1,383